



仕様

地域：チリ / アコンカグア・ヴァレー

スタイル：赤ワイン

葡萄品種：カベルネ・ソーヴィニヨン カルメネール プティ・ヴェルド マルベック

テイスト：辛口

アルコール度数：14.0%

容量：750ml

説明

セーニャは1995年にチリのエデュアルド・チャドウィックとアメリカのロバート・モンダヴィによるジョイントベンチャーとして設立され、現在はチャドウィック家が単独で所有しています。彼等の目的は、チリが持つ潜在能力を完全に示すワインを造ることでした。そのワインはボルドースタイルを基に、アコンカグア・ヴァレーでバイオダイナミック農法の指針に基づいて栽培するブドウから造られる、チリらしい魂を持ったワインです。彼等の夢は、やがて世界の1級格付ワインの中に迎え入れられるワインを造ることでした。2021年はセーニャの25周年記念ヴィンテージであり、バランス、深み、エレガンスのバランスが取れたワインが持つ潜在能力を示しています。

テイスティングノート スミレがかった美しい深みのあるルビー色。ノーズはいちご、カシス、バラのはあんピラの繊細な含みを示し、ほのかなクローブ、スパイス、ココアに縁取られている。口に含むと美味な赤果実、カシス、ベイストリー、ダークチョコレートを感じ、引き締まっていて、ジューシーな酸ときめ細かいタンニンによって完璧なバランスを保つ。滑らかで垂直な骨格が続き、今後何年も愉しめるような逸品

by ワインメーカー、フランシスコ・ベッティグ

葡萄品種 50% カベルネ・ソーヴィニヨン、27% マルベック、17% カルメネール、6% プティ・ヴェルド

畑 / 醸造方法

ピュアでエレガント、洗練されている

適度に涼しく、葡萄はゆっくりとスムーズに成熟し、傑出したヴィンテージを造る

5月～10月にかけて282mmという平均的な降雨のお陰で、帯水層はシーズンに向けての準備が整った。平均的な気温によりゆっくりとした理想的な生育期を迎え、穏やかな春は完璧な芽吹きをもたらした。例年よりやや涼しく曇りがちだった夏は、1月下旬の恵みの雨（9mm）のお陰で、健全な葡萄の穏やかな成熟を保証。3月下旬の葡萄畑は、穏やかな暖かさに恵まれ、完璧に成熟した葡萄が栽培された。

収穫は予想通り3月下旬～4月中旬にかけてマルベックより始まり、カベルネ・ソーヴィニヨンは4月の最初の2週間に収穫し、プティ・ヴェルドは4月の第2～3週と重なり、最後にカルメネールは5月初旬の2週間で収穫を終えた。

2021年ヴィンテージは理想的なコンディションに恵まれ、ピュアで生き生きとしたワインを造り、恐らく例外的な年として記憶されることであろう。芳醇で複雑な、爽やかな酸味を持ち、美味しく滑らかで直線的な風味と緻密なタンニンを感じる、並外れた高い熟成のポテンシャルを有する逸品。

熟成 22か月熟成、90%フレンチオーク樽(内70%新樽)、10%大樽

受賞歴

ジェームス・サックリング 100ポイント！

ワイン・アドヴォケイト 98ポイント！

ヴィノス 96ポイント！

後続2022ヴィンテージ

ジェームス・サックリング 2024年世界トップ100ワイン選出&98ポイント！